

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【339】
2. 日時：令和4年12月14日 15時15分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、

山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力耐震グループ マネージャー 他17名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当※

## 5. 要旨

- (1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（電気計装関係の耐震性についての計算書）について、令和4年12月8日の提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。  
【低圧炉心スプレイポンプ出口圧力の耐震性についての計算書】
  - すみ肉溶接部の発生応力について、引張応力とせん断応力の使い分けの考え方を説明すること。
  - 溶接部に対する組合せ応力について、二乗和平方根法（SRSS法）で算定していることの考え方を説明すること。  
【地震加速度の耐震性についての計算】
  - 地震加速度の基準地震動 $S_s$ に対する電氣的機能維持評価について、耐震重要度分類Sクラスの施設であることを踏まえて説明すること。
- (3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他  
提出資料：  
なし